

秋田きらり支援学校では

障害理解学習の お手伝いをします



本校では、障害の有無に関わらず、自分や相手を理解し、思いやりの心をもって関わり合う共生社会の実現に向けて「障害理解学習」のお手伝いをしています。内容は、「からだに不自由のある人の理解や関わり方」について、講話や体験活動を行います。

貴校の学習のねらいに合わせて、担当の先生と相談しながら一緒に授業づくりを進めます。これまでは、次のような体験活動を行いました。参考にしてください。

車いす体験

「車いすを押すときは、どんなことに気を付けたらいいの？」

「車いすに乗っている人は、どんな気持ちなの？」

実際の体験を通して、互いの気持ちや関わり方を考えてみます。

※車椅子の借用は自校で

お願いします。



ボッチャ体験

ボッチャは、身体の不自由な人のために考案されたスポーツです。障害のあるなしに関わらず、全ての人と一緒に競い合えます。

「障害のあるなしに関わらず、一緒に楽しむにはどうする？」

を体験を通して考えてみます。



道具の体験

からだに不自由があっても、学習に取り組むための工夫はたくさんあります。実際に使われている道具を体験して、その便利さや、ない場合の不便さについて考えてみます。

小5国語科「ユニバーサルデザインについて知ろう」(光村図書)の学習と関連付けて体験した学校もありました。



★不明な点はこちらまで
ご相談ください。



秋田県立

秋田きらり支援学校

地域支援部

一関留美子

教諭(兼)教育専門監

藤原恵理子

TEL 018(889)8573

FAX 018(889)8575

E-mail kirarisien@akita-pref.ed.jp